

G P A 制度の実施について

〔平成21年7月21日
全学教育委員会決定〕

1 GPA制度は、学生の履修科目の成績の平均を数値により表すもので、学生の成績評価をより厳格（明確）にすることにより、授業に対する学生の学習意欲（意識）を高める効果があり、修学指導等にも活用できる。

2 GPAの活用例として次の事項等が挙げられる。

修学（履修）指導、クラス分け、奨学金順位付け、留学順位付け、学部・学科表彰、就職推薦、転学部・転学科等の判定等

3 学生の評価方法として、授業ごとの成績評価を5段階（A、B、C、D及びF）で評価し、次のとおりグレード・ポイントを付与し、この単位当たりの平均（GPA = Grade Point Average）を算出する。

（A：4 B：3 C：2 D：1 F：0）

平成17年度以前入学生は、成績評価を4段階（優、良、可及び不可）で評価しており、グレードポイントは、優：3 良：2 可：1 不可：0 でGPAを算出する。

4 GPAの計算方法

（1）GPA（Grade Point Average）= GPT（Grade Point Total）/履修登録単位数
GPT（Grade Point Total）= [GP（Grade Point）×単位数] の総和

（2）履修登録単位数に「F」は含めるが、学生の成績評価がP（合格）の評価の科目及びR（認）の評価の科目は、GPAの評価の対象とはしない。

（3）GPAの計算は、小数点第3位以下を四捨五入するものとする。

（成績評価基準）

区分	評価	成績評点	Grade Point	評価内容（英文内容）		
合格	A	100～90点	4	特に優れた成績を示したもの （Excellent）		
	B	89～80点	3	優れた成績を示したもの （Good）		
	C	79～70点	2	妥当と認められる優れた成績を示したもの （Fair）		
	D	69～60点	1	合格と認められる最低限度の成績を示したもの （Pass）		
不合格	F	59点以下	0	合格と認められるに足りる成績を示さなかったもの （Failure）		